

「徳島でICTと地域活性化セミナー」を開催

～ “何かしたい”を“まず、やってみる！”に～

総務省四国総合通信局(局長:村松 茂)は、平成30年12月5日(水)、あわぎんホールで「徳島でICTと地域活性化セミナー」を開催し、地方公共団体、ICT関連企業などから57名が参加しました。

第1部 ICT/IoTを活用した地域課題への取組 四国で活躍する地域情報化アドバイザー6名が、それぞれの専門分野の取組を紹介しました。

岩丸 裕建 氏 (えひめ結婚支援センター 事務局長)

「自分と同じ異性を選んだ同性群を選んだ異性群」や「自分を含む同じタイプの同性群を選んだ異性群」などビッグデータから読み取れる「実は好み好まれているかもしれない相手」を紹介する「ビックデータからのおすすめ機能」を構築。お見合いに至る率が2倍以上となっていることなどを紹介。

坂本 世津夫 氏 (愛媛大学社会連携推進機構 教授)

地域を変えるためには人材育成が重要とし、西予市と愛媛大学が連携して実施している天才児教育(創造性教育)・スーパーキャリア教育「西予開成塾」の取組を紹介。「西予開成塾」では子どもの教育と同時に大人の育成も行い、授業内容ではプログラミング教育にも注力していると説明。

崎山 雅子 氏 (南国市 市民課長)

市民が自身の健康情報を一元管理できる南国市健康ポータルの取組を紹介。健康管理という観点から地域に愛着を持って住み続けることができる環境を醸成。少子高齢化や健康寿命の低さなどの課題解決のカギは、住民自身が自分の健康に関心を持つことであると説明。

隅田 徹 氏 (株式会社えんがわ 代表取締役社長)

サテライトオフィスでひとりひとりにあった働き方を実現する取組を紹介。「古民家活用」と「働き方の多様化」をキーワードに、様々な事業に着手。サテライトオフィスは地域振興のためではなく、「働き方」の選択肢を増やすためのものであり、あくまでも目的は自分たちの事業であると説明。

中川 斉史 氏 (東みよし町立足代小学校 教頭)

全国159か所、徳島2か所で行われている地域の小学生向けのプログラミング教育活動「CoderDojo」や、未来を担う子供たちに地域のことをもっと知ってもらうための取組を紹介。情報活用能力は学習の基盤となっており、ICT支援員の育成・確保が重要であると説明。

横石 知二 氏 (株式会社いろどり 代表取締役社長)

農業へのICT利活用や、SDGs(持続可能な開発目標)への取組を紹介。SNSを活用し、リアルタイムの情報受発信によって「必要な時に必要なものを必要なところへ出荷する」仕組みを構築し、かつ生産者の販売意欲を向上。「いろどりブランド」は、上勝ブランド力強化にも寄与。



セミナーの様相

第2部 分科会

参加者とアドバイザーがテーマごとに分かれ、地域で抱えている課題やアドバイザーの取組内容について意見交換しました。このうち、婚活支援(ビッグデータ)分科会では、ビッグデータの利用を進める中でセキュリティ保護はどのように行うべきかなどが議論されました。



第2部 分科会の模様

セミナー後のアンケートでは、「自治体としてどう動けばいいか参考になりました。」、「普段分らない学校でのICT推進や先生側の取組が聞けて大変勉強になりました。」、「自治体の方とベンダーの方、両方の方との話ができたので良かった。」などの声が寄せられました。

(お問い合わせ先) 情報通信部 情報通信振興課 089-936-5061